

# 飛 翔 (ひしょう)

前回の進路通信「飛翔」では、小学部の授業の中で意識していることについて取材し、活動内容や「自立と社会参加」につながる点について紹介をしました。前回に続き、今回は中学部の取り組みについて紹介をします。

## 中学部全学年 作業学習

**目標**・・・働く姿勢を身に付けることができる(あいさつ、返事、身だしなみ)

自分の役割や作業を覚え、最後まで作業することができる(わからないことは自分から聞く、時間いっぱい取り組む)

## 活動内容

キャンドル班…ろう板作り、パキパキ(ろう板を細かく折る作業)、ミキサーかけ、カップ入れ、芯入れなど

紙すき班…牛乳パック切り、紙ちぎり、ミキサーかけ、紙すき、製品組み立て(ポチ袋)

中学部では週に4時間、キャンドル班と紙すき班に分かれて作業学習を行っています。どちらの作業班でも「あいさつ、返事、身だしなみ」を意識して、自分の作業に取り組んでいます。その他にも作業が1つ終わったら「できました」と教員に報告することや、時間いっぱい取り組むこと、作業時間と休憩時間のメリハリをつけて取り組むことを意識しています。作業で報告をする習慣が付いているため、国語や数学の授業でも、プリントが1枚終わると「できました」と報告する姿がみられます。作業学習で身に付けた習慣が授業や学校生活全体に広がっていることがわかります。

作業学習で身に付けたい力は、作業を上手にこなすスキルではなく、あいさつやわからないことを質問するコミュニケーション力、時間いっぱい取り組む集中力などです。例えば、気持ちのよいあいさつをすると、相手も嬉しい気持ちになり、信頼関係を築くことにもつながります。また、わからないことを「わからないまま」にすると、失敗したり、時間がかかったりします。そうならないためにも、コミュニケーション力が必要です。中学部の生徒は、作業学習という時間の中で、体験的にこれらの力を身に付けています。



## 中学部全学年 日常生活の指導

**目標**・・・身の回りのことが自分でできる。

**活動内容**・・・登下校の身支度、朝の会、帰りの会、歯磨き、掃除など

中学部は、1時間目に「日生」(朝の会)の時間が設けられていますが、その他にも、給食や掃除など日常生活場面すべてが、日常生活の指導の対象です。そして、生活の流れの中で、自分でできることを増やしていくことが目標です。例えば、取材をした中学部2年生は、朝、自分で今日の予定を予定帳に写すこ

とで、授業や移動教室を知り、自分で授業の用意をしたり、移動したりすることを心掛けています。

そして、日常生活の指導では、コミュニケーション力を高めることも狙っています。学校でも社会でも集団生活は基本です。周りの人とうまく関わっていくためにも、コミュニケーションが大切になってきます。中学部2年生では、給食配膳までの待ち時間にクイズ大会をし、仲間とコミュニケーションをする楽しさを感じています。まずは、コミュニケーションの楽しさを感じることから始め、次第に自分から思いや要求を伝えられる姿を願っています。人と関わる楽しさを感じられると、「人のために役に立ちたい」「社会とつながりたい」という思いが芽生え、社会参加にもつながるのではないのでしょうか。そして、思いを伝えられると、自分のことを理解してもらえ、配慮してもらったり、助けてもらえたりします。

自分の身の回りのことやコミュニケーションを毎日積み重ねることで、生活の流れの中で、力を付けています。



**高等部 現場実習の様子を紹介します！**



<生活介護施設>  
決まった時間、集中して缶つぶしの作業に取り組みました。



<B型就労支援事業所>  
施設外作業で、フレスポの清掃に取り組みました。周りの人への挨拶も心がけました。



<一般企業>  
クリーニングの終わったリネン類を機械で束ねました。束ねるひもが中心になるように調整して、機械に乗せました。



<A型就労支援事業所>  
アスパラガス発送の準備をしました。1枚1枚丁寧に品名を記入しました。

次回は、高等部の取り組みを特集します。